

ヒトスジ 126 「空地 (1日)」 (一部) 2013年制作

伊丹ゆかりのクリエイター

升田学ハリガネ造形展 | ヒトスジ

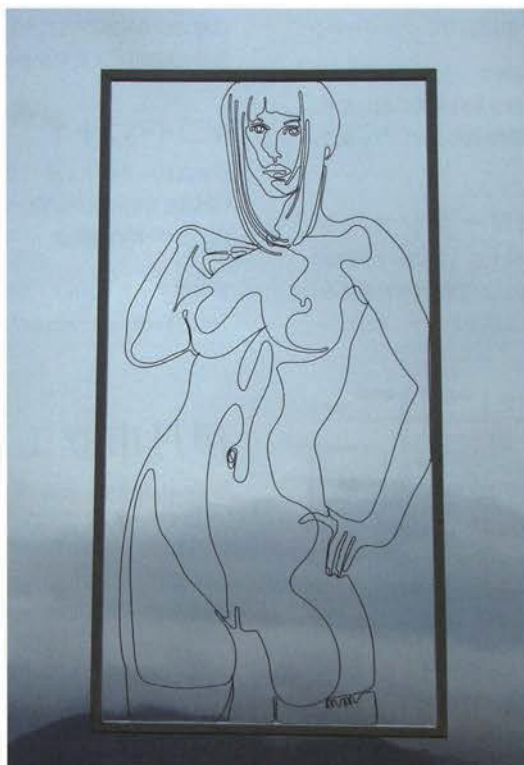
Masuda Manabu One Stroke Wire Art Exhibition | HITOSUJI

伊丹市立工芸センター 2016年2月6日(土)~2月28日(日) 10:00~18:00 (入館は17:30まで) 月曜休館 (祝日の場合翌日) 入場無料

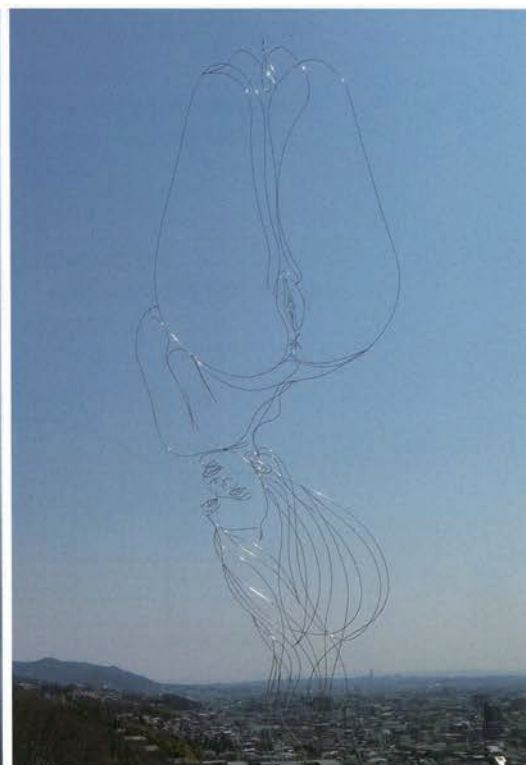
主催:伊丹市立工芸センター[公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市] / お問い合わせ:伊丹市立工芸センター 兵庫県伊丹市宮ノ前2丁目5番28号 TEL:072-772-5557



ヒトスジ 135 「地とつながるモノ」 (一部) 2014年制作



ヒトスジ 21 「強い女」 2006年制作



ヒトスジ 002 「鬱金香 (チューリップ)」 2011年制作

伊丹ゆかりのクリエイター 升田学ハリガネ造形展 | ヒトスジ

Masuda Manabu One Stroke Wire Art Exhibition | HITOSUJI

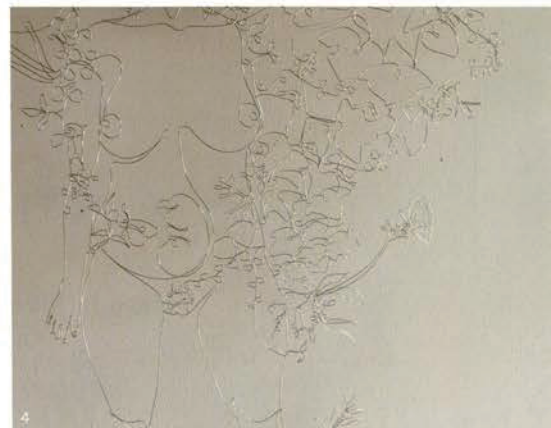
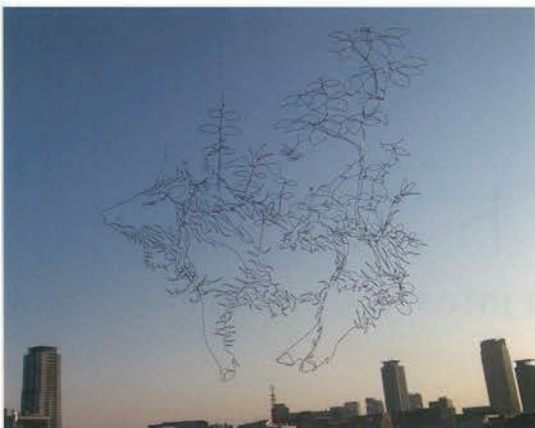
2016年2月6日(土)～2月28日(日) 伊丹市立工芸センター

「ヒトスジ」とは、一本の針金から一筆描きの要領で制作される美術作品です。これまで「人の筋」「一本の筋」をキーワードとして、「繋がり」「連鎖」「血脈」を感じさせる作品を数多く制作。平面を意識して制作される作品は、それでいて面を持たず、背景を取込み、影を落とします。

2006年から始めたヒトスジは、今年で10年という節目の年を迎えます。今回の展示はヒトスジのはじまりである、そぎ落とされたラインのみの女性作品から母と子をつなぐ妊婦作品、植物と人・動物の連鎖作品など、これまで通ってきた一本のスジをご覧ください。

升田学 Masuda Manabu

2006年よりハリガネ造形作品シリーズ「ヒトスジ」を創作。「ヒトスジ | 空地」(伊丹市立伊丹郷町館/2013)、「升田学ヒトスジ展@クロスロードカフェ」(伊丹/2013)、AMA展「升田学×田中健作 足下から見つめて」(尼崎/2014)、「ヒトスジ | 生きるモノの態度」(東京/2015)など展覧会多数。伊丹市立工芸センター「夏休み1日クラフト教室」講師(2013～)。伊丹ジュエリーカレッジ特別講師(2014)。



1. ヒトスジ109「再生 イノシシ」 2011年制作
2. ヒトスジ063「然」 2008年制作
3. ヒトスジ133「花菖蒲」の制作風景 2014年
4. ヒトスジ124「空地(8ヶ月)」(一部) 2013年制作

| 升田学滞在制作

日時:2016年2月6日(土)～21日(日) 10:00～17:00(予定)
会場:伊丹市立工芸センター 企画展示室(B1)サンクンガーデン

展示期間中、会場隣のサンクンガーデンにて
次回展示予定の針金絵画展「絵空事」の滞在制作をおこないます。

※詳しい日時はFacebookやHPで随時お知らせいたします。

| 針金ワークショップ

日時:2016年2月13日(土) 10:30～(予約制)
定員:10名 小学校高学年以上対象 費用:1,000円(材料費込み)
場所:伊丹市立工芸センター B1ロビー

| 次回展示案内 |

升田学 針金絵画展「絵空事」

日時:2016年2月27日(土)～3月27日(日) 月曜定休(祝日の場合翌日) 入場無料
会場:伊丹市立工芸センター 企画展示室(B1)サンクンガーデン

| 関連イベント |

クロスロードカフェ展 日時:2016年3月2日(水)～27日(日) 火曜定休
CIRCEと升田の創作LIVE 日時:2016年3月6日(日) 14:00～(無料)
「絵空事」夜の鑑賞会 日時:2016年3月11日(金)12日(土) ～20:00まで

升田学アートHP: <http://www.a-t-n.jp>

升田学Facebook: <https://www.facebook.com/manabu.masuda.52>



伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL:072-772-5557 FAX:072-772-5558
HP: <http://mac-itami.com>

阪急:伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR:宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
※駐車場はございませんので、近隣有料駐車場をご利用ください。